

福井県テニス協会主催大会（ランキング対象大会） ドロー作成の手順

1. ドロー作成の手順

① 申込締切日がすぎたら

・ジュニア大会はすみやかにエントリーリスト（種目別を作成し、会場・時間・注意事項とともに、県テニス協会（加盟団体）のホームページに掲載する。

・ 仮ドローを作成し、会場・時間・注意事項とともに、県テニス協会（加盟団体）のホームページに掲載（試合当日は会場にも掲載する）をする。

・ オーダー・オブ・プレーは当日発表を原則とするが、事前にホームページで公開した場合には受付時間（NB等）を明記する。

② シード

1) シード数

は、ドロー数の4分の1（下表）を基本とし、下記のシード数を基準としてシードを作成する。ただし、北信越予選会などで、北信越大会出場枠が下記ドロー基準を超える場合は別に考慮する。

*	1シード	7ドロー以下
*	2シード	8ドロー（または出場数が 8～ 11）
*	4シード	16ドロー（または出場数が 12～ 23）
*	8シード	32ドロー（または出場数が 24～ 47）
*	16シード	64ドロー（または出場数が 48～ 127）
*	32シード	128ドロー以上

2) シードの選考基準

- ・各種目最新の県ランキング上位者からシードとする。
- ・ランキングを保持していない者でも福井県テニス協会トーナメント委員会（主管団体）の判断でシードにすることができる。

3) シードの順位

- ・各種目最新の県ランキングによりシード順位を決定する。主管団体推薦者・予選通過者もシードの対象となる。
- ・福井県テニス協会トーナメント委員会（主管団体）でシードされた選手の順位は主管団体の判断による。
 - a) 単 各種目ランキング上位者から順番をつける。同位の時は抽選とする。
 - b) 複
 - ①ペアの順位の合計上位から順番をつける。
 - ②同順位の場合は個人の順位のペアが上位（2人とも同順位の場合は抽選をする）となる。
 - ③ポイントが同じ場合、ランキング保持者が一人のペアは、両者がランキングを所持しているペアの次とする。

4) ドローには、シードを必ず記載する。記載の方法は、別に列記するか、ドロー番号の前か後ろに、○の中にシード順を番号で記載する。

5) シードに欠場があってもリドローはせず、欠場したシードの位置には、シードから漏れた最上位者が順に繰り上がり、その繰り上がりで空いた位置はラッキーランナー（予選の行われた大会）又は、補欠者（参加者を制限して補欠リストのある大会）のそれぞれ上位者（同順位の場合は抽選）を入れ、いないときはB y eとする。

（県選手権大会・J 1大会、各ジュニア予選大会で適用。その他は繰り上げをせずそのままB y eとする。）

6) 繰り上げで入ったシード順位は、シーディングリストの順位がそのままシード順位となり、欠場したシードは欠番となる。

③ ドローの方法

1) シードの位置1と2は決められた位置、3・4シードは2つを1組にして、また、5～8、9～12、13～16の4つを1組にして抽選しその位置を決める。32シードの場合も、17シード以降は4つを1組にして抽選しその位置を決める。

2) シード以外の選手の位置は必ず抽選によって決定する。

3) B y eの位置は、シード上位者の対戦相手の位置から順に、ドローの左右または、上下の数が均一になるように配置する。

2. シード数の変更

・シードの数は、ドロー数の4分の1を基本とするが、上位大会の要項で、出場枠がドロー基準を超える場合は別に考慮する。

3. 参加数を制限している大会

① 参加数を制限（例えば消化可能数を超えたとき等）は、ランキング上位者より決定する。

② 出場制限をして足切りをした場合は、補欠リストを必ず作成する。

③ 大会当日欠場（W/O）があった場合は、補欠リストの上位者より補充する。

④ 大会当日ラッキールーザーの申し出(受付を)したものは抽選後または大会開始後には辞退できない。

5. ドロー作成上の注意事項

① ドローの各種目の右側に参加数を必ず記載する。

<例> 男子シングルス (6 4)

② ドローの注意事項には、必ずランキング使用日を記載する。

<例> 今大会のドローは『2011. 4. 1』発表のランキングにより作成

③ ドローには、シード順位・氏名・加盟団体・所属団体を明記する。

<例> ① 1 山田 太郎 (福井 ATC)

④ 種目または、ラウンドにより受付終了時間を設定する場合は、遅くても仮ドローと同時に発表できるようにする。

<例> 試合開始予定時間 男子シングルス 1 R 8 : 30
2 R 10 : 10

平成24年3月3日 成立
平成24年3月3日 施行